科目コード	L130	科目名	地理学			DPとの関連	1／2／6
開講年次	2年次前期	科目名（英語）	Geography			単位数	2単位
選択必修	選択	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	上原富二男（非常勤）	実務経験		担当教員		保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	自然地理学ならびに人文地理学の基礎的視点に関する理解を深めるとともに、沖縄の離島地域の地理的特性（島嶼性）についても学習する。
到達目標	1．地理学の考え方を知る。 2．地球的視点から沖縄（しま・島）の良さを学ぶ。 3．世界的諸課題について，地理学の視点から，かつ沖縄の事例に基づく説明ができる。

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	地理学の考え方 1）花綵列島の歌4 2）風水の空間構造	豆テスト	上原	講義
第2回	民話と地理学 1）カワウソがいた 2）クチャビラグヮーヌ遺念火	豆テスト	上原	講義
第3回	しまと島 1）しまとは 2）島の分類	豆テスト	上原	講義
第4回	地球の姿 1）季節と時差 2）地図と生活	豆テスト	上原	講義
第5回	地図の世界 1）地図の歴史 2）地図を読む	豆テスト	上原	講義
第6回	変動する地球 1）プレートテクトニクス 2）地震と津波	豆テスト	上原	講義
第7回	環太平洋造山帯 1）Fire Ring 2）地殻運動と地形	豆テスト	上原	講義
第8回	サンゴ礁と台地 1）ユイムンの海 2）階段の島	豆テスト	上原	講義
第9回	台地と集落 1）溶ける台地 2）泉と集落	豆テスト	上原	講義
第10回	変わる気候 1）熱帯になった宮古，八重山 2）忍び寄る風土病	豆テスト	上原	講義
第11回	三角江と港 1）長江とNapha Kiang 2）三角江とグスク	豆テスト	上原	講義
第12回	世界の人口 1）世界人口の変遷 2）人口問題	豆テスト	上原	講義
第13回	農業と食料生産 1）四つの農耕文化 2）Hunger map	豆テスト	上原	講義
第14回	政治と地理学 1）ペリーと琉球・沖縄 2）Keystone of the Pacific	豆テスト	上原	講義
第15回	地球環境問題	豆テスト	上原	講義

	1）世界の環境問題 2）島の環境問題			
第16回	期末試験		上原	
テキスト	テキストは使用せず、配布プリントによって授業を進める。			
参考文献	参考文献は、授業で紹介するが、高等学校で使用した地理の教科書・地図帳があるとよい。			
他科目との関連	授業科目全般			
成績評価の方法	豆テスト(30％)、授業への取り組みと態度(20%)、期末試験(50％)で評価する。なお、試験には自分で作成したノートの持ち込みを可とする。			
学習相談・学習体制	授業で毎回実施する豆テストは，授業への取り組みを評価する手がかりである。また，毎 回授業に対する意見や質問を提出することにより，授業の理解へつなぐ。			
学習指導法の工夫	地元の教材を活用して理解を深める。			
授業改善の特記事項	授業はテキストに代えてプリントによって進めるが、適宜関連資料を添付する。			
備考	・地理学は身近な科学である。その校正は系統地理学と地誌学を二つの柱とし、系統地理学 は自然地理学人文地理学に分けられる。授業は系統地理学分野を中心に、基礎的事象を理解し、それらを沖縄の事象と比較、考察することにより理解を深める。沖縄の島は小さい。しかし小さいから向こうが見える。たとえば、中等教育における地理的諸事象は沖縄の島にも存在し、しかもそのスケールが小さいことから、確認しやすく、理解につながる。すなわち本授業は、世界的諸課題について、地理学の視点から、かつ沖縄の事例に基づく説明ができることを目標とする。			

科目コード	L140	科目名	環境学			DPとの関連	1／2／6
開講年次	2年次前期	科目名（英語）	Environmental Studies			単位数	2単位
選択必修	選択	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	桜井国俊（非常勤）	実務経験		担当教員		保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	現代社会の課題である地球環境問題の学習を通し、これまでの科学技術が地球環境にどのような影響を与え、また、その修復に私たちがどのように関われるかについて理解する。また、環境と健康との関係についても学習する。
到達目標	1. 沖縄、日本、アジア、世界の環境の現状と課題について理解する。 2. 日々の生活（ライフスタイル）が環境にどのように影響しているか考察でき　るようになる。 3. 自らのライフスタイルを環境により優しいものとするための技能と意欲を獲得する。 4. 自らが日々クラス家庭、大学、沖縄社会を変革する意欲を形成する。

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	序論（授業の目的、授業計画等の説明）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第2回	沖縄の環境問題概説（基地と環境問題、観光と環境問題）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第3回	生態系・食物連鎖・生態ピラミッド・生物多様性・世界自然遺産登録問題・COVID-19問題	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第4回	生態系を脅かした事件・事故（東日本大震災を契機に改めて原発問題を考える）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第5回	地球温暖化と地球サミット（地球温暖化の沖縄への影響を考えよう）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第6回	持続可能な開発と環境倫理学、MDGs・SDGs、CSR Report、ESG投資	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第7回	DDTと環境ホルモン（化学物質の安全性について考えよう）・PFAS問題	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んで	桜井	講義

		いることを前提に授業を行う		
第8回	貿易と環境（ハンバーグとエビについて考えよう）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第9回	ゴミ問題（身近な環境問題について考えよう）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第10回	水問題（沖縄・日本・世界の水問題について考えよう）。沖縄のPFAS汚染問題について考える。	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第11回	資源エネルギー問題（エネルギー新時代の到来とそれが持つ意味について考えよう）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第12回	食糧問題・食品安全問題、種子法・種苗法問題	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第13回	途上国環境問題（君は途上国のこの現実を知って飽食のライフスタイルを続けられるか）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第14回	循環型社会の構築に向けて（環境首都フライブルグの取り組みなどを参考にしよう）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第15回	持続可能な社会構築の手段としての環境影響評価（環境アセスメント）	・毎回、次の講義の講義資料を配布し、事前に読んでいることを前提に授業を行う	桜井	講義
第16回	期末試験	・期末試験は、事前配布資料を含め、あらゆる資料の持ち込みを可とする。 ・配布資料は、ファイルを保存して試	桜井	

		験前に目を通しておくことが必要。		

テキスト	次回に使用する講師作成の講義資料を毎回配布する。
参考文献	・『沈黙の春』（レイチェル・カーソン、新潮社） ・『奪われし未来』（シーア・コルボーン他、翔泳社） ・『世界がもし100人の村だったら』（池田香代子、ﾏｶﾞｼﾞﾝﾊｳｽ） ・『バナナと日本人』（鶴見良行、岩波新書』 ・『エビと日本人』（村井吉敬、岩波新書）
他科目との関連	なし
成績評価の方法	出席カードに講義への感想、質問、意見等を記述してもらう。これをＡ（+）、Ａ、Ｂ、Ｃの4段階で評価し、それを授業参加点（50点）とする。期末試験（50点）とあわせて成績を評価する。なお主要な意見については次の回に紹介し、また質問に回答する。
学習相談・学習体制	毎回の授業のあと、10分間、相談・助言のための時間を設ける。
学習指導法の工夫	適宜学生に質問し、双方向の授業となるよう心がける
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。
備考	沖縄、日本、アジア、世界の環境の現状と課題について学び、あわせて21世紀の地球市民として、われわれ沖縄の市民は環境に優しい社会を築くためにどのように行動すべきかを明らかにする。

科　目 コード	12110	授業 科目	社　会　学 (Sociology)	担当 教員	○山口賢一

開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講　義
選択必修	選　択	時間数	30時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	社会学の基礎理論をふまえ、個人と社会、集団、地域社会、社会文化等についての理解を深め、情報化社会、少子高齢化社会、グローバリゼーション等についての問題を取り上げ、事象の多面的な捉え方について学修する。
到達目標	1. 社会学の基礎概念およびテーマを理解する 2. 社会学的想像力を用いて授業テーマについて考察できるようになる

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習（学習課題）	担当者名	授業形態
第1回	授業概要説明　社会学とは何か／社会学的想像力とは何か	テキスト pp. 114, 186, 275, 276	山口	講義
第2回	意味と相互主観性	テキスト pp. 3-20		
第3回	アイデンティティ・スティグマ	テキスト pp. 21-50		
第4回	正常と異常	テキスト pp. 51-66		
第5回	社会構築主義	テキスト pp. 81-98		
第6回	ジェンダー	テキスト pp. 101-116		
第7回	規範と制度	テキスト pp. 117-134		
第8回	コミュニケーションの自己準拠	テキスト pp. 135-152		
第9回	社会の中の権力	テキスト pp. 153-170		
第10回	不平等と正義	テキスト pp. 171-189		
第11回	共同体	テキスト pp. 193-210		
第12回	国家と市民社会	テキスト pp. 211-226		
第13回	移民と国民国家	テキスト pp. 227-242		
第14回	グローバル化と公共圏	テキスト pp. 243-260		
第15回	総括／社会学的想像力の使い方を考える	テキスト pp. 261-277		
第16回	期末試験			

テキスト	友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之・坂本佳鶴惠著.　(2019)．社会学のエッセンスー世の中 のしくみを見ぬくー．有斐閣アルマ

参考文献	講義中に適宜指示する。
他科目との関連	授業科目全般
成績評価の方法	定期試験（40%）、プレゼンテーション（40%）、積極的参加度（20%）
学習相談・学習体制	オフィスアワーは毎週木曜日、13:30~14:30、科目責任者の研究室にて対応します
学習指導法の工夫	討論型授業
授業改善の特記事項	グループワークなど、学生が討論できる機会を増やす
備　考	学生は積極的にグループワークに参加し、発言することが期待される。コロナウィルス感染 拡大の影響で対面授業が実施できない場合は、遠隔教材に沿った学習方法を別途指示し、成績評価の方法についても周知する。

科目コード	L240	科目名	経済学			DPとの関連	1／2
開講年次	2年次前期	科目名（英語）	Economics			単位数	2単位
選択必修	選択	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	狩俣一郎（非常勤）	実務経験		担当教員	狩俣一郎	保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	生きた現実経済の中から、生活に根差した具体的な事例を取り上げながら、経済の基本概念である需要と供給の概念について学習する。
到達目標	・経済理論の基本的な理解。医療経済学の基本的な理解。 ・我が国における社会保障と医療経済の現状の理解。 ・医療の現場における医療経済学の理解。 ・医療経済学の知識を用いて現場での実践的な活動計画の検討ができるようになる。

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	経済学・医療経済学とはなにか。	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第2回	需要と供給（価格はどうやって決まるの）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第3回	需要と供給２（価格はどうやって決まるの）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第4回	グループワーク（状況によっては通常講義形式）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第5回	前半のまとめ	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第6回	ミクロ経済（市場とは）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第7回	経済の循環とマクロ経済①	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第8回	経済の循環とマクロ経済②	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第9回	経済の循環とマクロ経済③	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義

第10回	中間のまとめ グループワーク（状況によっては通常講義形式）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第11回	医療経済学１　医療と経済（世界編）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第12回	医療経済学２　医療と経済（日本編）１	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第13回	医療経済学２　医療と経済（日本編）２	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第14回	医療経済学３　医療と経済（現場編）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩俣	講義
第15回	テスト	全講義の総まとめ テストについては講義資料の持ち込み可	狩俣	論文形式のテストを実施する。
第16回				
テキスト	項目ごとにオリジナル資料にて講義を行うので、その他のテキストは使用しない。			
参考文献	紙面の都合ですべてを掲載できないので、講義開始時に一覧表を配布する。 菅原 晃（2013年）『高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学』　河出書房新社　他			
他科目との関連	授業科目全般			
成績評価の方法	授業参加状況（30%）＋　レポート（30%）＋　期末試験（40%）			
学習相談・学習体制	講義中に質疑を受け、対応する。			
学習指導法の工夫	討論型授業			
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。			
備考	経済学の初歩的な理解を得て、興味を持ってもらうことを目的としています。 また、医療経済学の基本を学び、実践に生かせる知識の取得を期待しています。			

科目コード	L250	科目名	情報学			DPとの関連	1／2
開講年次	2年次前期	科目名（英語）	Informatics			単位数	2単位
選択必修	選択	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	栗島 一博	実務経験	あり	担当教員		保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	情報の持つ意味など情報の本質に関する理論や知識を学び、さらには科学的思考活動や社会調査など研究活動に結びつく情報の処理方法とその応用を学習する。
到達目標	1．情報学における情報の考え方について知る。 2．情報を扱うコンピュータについての基礎的な知識を知る。 3．情報に関する法律や倫理を知る。 4．研究活動や社会活動で用いる情報の表現方法を知る。 5．プログラミングや最新の技術を用いた情報処理を行うことができる。

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	本科目の進め方のガイダンス	(事後)KWM提出	栗島	講義
第2回	情報学とは何か	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義
第3回	コンピュータに関する基礎知識	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義
第4回	コンピュータネットワークに関する基礎知識	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義
第5回	情報と倫理	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義
第6回	個人情報の保護	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義
第7回	情報の伝達と共有	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義
第8回	チーム活動における情報の共有（目標管理）	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義+演習
第9回	チーム活動における情報の共有（情報伝達）	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義+演習
第10回	文章表現による情報の共有	(事前)前回授業のKWMフ	栗島	講義+演習

		ィードバック閲覧、(事後)KWM提出		
第11回	情報の検索と利用	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義+演習
第12回	プログラミングを用いた情報処理	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義+演習
第13回	データベースを用いた情報処理	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義+演習
第14回	人工知能を用いた情報処理	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義+演習
第15回	まとめ	(事前)前回授業のKWMフィードバック閲覧、(事後)KWM提出	栗島	講義
第16回				

テキスト	授業ごとに教員作成の資料を用いて行う。
参考文献	授業時に適宜紹介する。
他科目との関連	情報やコンピュータを扱う科目の他、研究活動にも関連する。
成績評価の方法	授業への参加状況（30%）、KWM提出・閲覧状況(70%)
学習相談・学習体制	本授業では授業外学習のWEBツールとしてKey Words Meeting（KWM）を用いる。教員への相談はKWMのメッセージで随時受け付ける。
学習指導法の工夫	毎回の授業終了後、記憶に残ったキーワードとそのノート・質問、気づきをKWMへ提出すること。また、次回の授業までに開示される教員からのフィードバックを閲覧すること。
授業改善の特記事項	KWMの提出内容をもとに、補足が必要な箇所について次回以降の授業およびKWM上でフィードバックを行う。
備考	

科目コード	L230	科目名	法学			DPとの関連	1／2
開講年次	3年次前期	科目名（英語）	Law			単位数	2単位
選択必修	選択	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	岩垣真人（非常勤）	実務経験		担当教員	岩垣　真人	保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	「法」とは何か、法のしくみ及び基本原理を正しく理解し、日常生活において生ずる様々な問題を法はどのように処理、解決しているのかについて学習する。また、生命を尊び、人権を尊重することを理解するために、日本国憲法の基本的人権の章に焦点をあてて学習する。
到達目標	1．法に関する基礎的知識を得て，とりわけ看護の実践の中で生じる問題を法的に考えることができる． 2．憲法学で用いられる基本的な原理・概念を理解し，説明することができる． 3．日常生活や，さらには広く現代社会で起きる事柄を法的観点から読み解き，自分の意見を述べることができる．

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	ガイダンス，看護と法（教科書第1章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと． 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること．	岩垣	講義
第2回	刑事責任（教科書第2章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと． 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること．	岩垣	講義
第3回	看護師と刑事事件（教科書第3章）	各講義時に説明する。	岩垣	講義
第4回	民事責任①　民事責任の基本構造（教科書第4章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと． 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること．	岩垣	講義
第5回	民事責任②　医療紛争と民事責任（教科書第4章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと． 事後学習：教	岩垣	講義

		科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること．		
第6回	看護師の過失（教科書第5章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと． 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること．	岩垣	講義
第7回	看護と患者情報の取り扱い（教科書第6章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと． 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること．	岩垣	講義
第8回	看護と労働法（教科書第7章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと． 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること．	岩垣	講義
第9回	看護師の法的位置づけ（教科書第8章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと． 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること．	岩垣	講義
第10回	医療の提供①　医療提供体制（教科書第9章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと． 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を	岩垣	講義

		再確認すること.		
第11回	医療の提供②　医療計画（教科書第9章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと. 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること.	岩垣	講義
第12回	医療保障①　医療の提供（教科書第10章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと. 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること.	岩垣	講義
第13回	医療提供②　公衆衛生（教科書第10章）	事前学習：教科書の該当ページを読んで予習しておくこと. 事後学習：教科書を再読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること.	岩垣	講義
第14回	全体のまとめ①　憲法上の権利としての患者の権利（教科書第6章を中心に）	事前学習：教科書の該当章を中心に，全般的に復習を行うつもりで，読んでおくこと. 事後学習：教科書を再々読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること.	岩垣	講義
第15回	全体のまとめ②　憲法上の権利としての看護師の権利（教科書第7章を中心に）	事前学習：教科書の該当章を中心に，全般的に復習を行うつもりで，読んでおくこと. 事後学習：教科書を再々読しつつ，ノート・メモ等と照らし合わせて講義内容を再確認すること.	岩垣	講義

第16回				
テキスト	野﨑和義＝柳井圭子『看護のための法学　自律的・主体的な看護を目指して〔第5版〕』（ミネルヴァ書房，2021年）			
参考文献	講義中に適宜提示する。			
他科目との関連	授業科目全般			
成績評価の方法	学期末レポート課題による（学期末レポート100％）.			
学習相談・学習体制	講義中に質疑を受け，対応する．また，講義内容を超えた全般的な質問については，講義の前後に対応する.			
学習指導法の工夫	講義中に学生の意見を求める発問を行い，また必要に応じて，挙手やコメントカード（ないしWEB上のフォーム）を通じて解答してもらう.			
授業改善の特記事項	授業評価に記述された，授業への要望等を必要に応じて取り入れていく．とりわけ，受講生が関心を持って講義に臨むことができるように，専攻する看護とのリンケージを高めることを意識して，講義設計を行っている.			
備考	学んだ内容を，今後の，看護のスペシャリストとしての生活に役立てることができるよう，主体的に学習することを期待したい. 教員免許状（養護教諭二種）を取得するための必修科目.			

科目コード	L330	科目名	教育学			DPとの関連	1／2
開講年次	2年次前期	科目名（英語）	Education			単位数	2単位
選択必修	選択	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	丹野清彦(非常勤)	実務経験	あり	担当教員		保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	教育形態の分類、学習の成り立ち、制度としての教育（学校）と教育思想の変遷、現代における我が国の教育観、教育文化について学習する。
到達目標	1. 教育とは何かについての関心・認識・考えを広げ深めること 2. 荒れる、揺れる子どもの内面を理解し関わることができる 3. 教育的発想・教育的関わりの初歩を積極的に体験的に学びとる

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	教育とは何か（関わりの思い出）	テキスト３アイドルの力	丹野	講義
第2回	学校は友だちに出会うところ	テキスト１ネコが友だち	丹野	講義
第3回	出会いを奪う学校の現実	テキスト２相手にされない	丹野	講義
第4回	学校と社会、学校は社会の縮図	テキスト４大人は敵だった	丹野	講義
第5回	生育環境と子どもの背景	テキスト５賞味期限切れ	丹野	講義
第6回	関係性、２者関係から３者関係へ（詩を書く）	テキスト12私はこれでも12歳	丹野	講義
第7回	子どもの発達、もう一人の自分	テキスト６どっぷり能力主義	丹野	講義
第8回	貧困の現状、描けない未来（調べる）	テキスト７万引きのわけ	丹野	講義
第9回	発達障害、多様な子ども	テキスト８飛び降りて死ぬ	丹野	講義
第10回	発達障害様状態、暴力と虐待	※玉木と冬樹	丹野	講義
第11回	ケアの教育、不登校の子ども	テキスト９私は捨てられた	丹野	講義
第12回	ケアする者がケアされる	テキスト10愛情満タンお願い	丹野	講義
第13回	家庭と教育、保護者の暮らし	テキスト11男の交換ノート	丹野	講義
第14回	世界と教育、グローバルな学び	終わりに	丹野	講義
第15回	自己評価　他者評価		丹野	講義
第16回				

テキスト	子どもの願い　いじめVS12の哲学　高文研出版　丹野清彦　※テキストは第１回の講義の時にお渡しします。1500円です。
参考文献	もっと話が上手くなる　丹野清彦　ほか
他科目との関連	授業科目全般
成績評価の方法	１）毎回のレポート　１４回 各４～0ポイント ２）特別レポート　　２回　各３～０ポイント ３）最終レポート　　４０～０ポイントです
学習相談・学習体制	授業前後の時間での面談　メールによる相談

学習指導法の工夫	講義とワークショップ
授業改善の特記事項	授業への要望等を必要に応じて取り入れていきます。そのためシラバスが一部変更になることもあります。
備考	講義はグループワーク等を取り入れて行います。積極的に参加してください。

科　目 コード	14143	授業 科目	英　語　Ⅲ (English Ⅲ)	担当 教員	○山城綾子 山口賢一

開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講　義
選択必修	選　択	時間数	30時間				

履修条件	前提科目	なし
	その他	なし
授業概要		読む、書くことを中心に英語を学習する。一般英文記事を読み、英文を正確に、かつ効果的に理解し、自分の意見を英語の文章で論説的に表現することを学修する。
到達目標		1. 英文を読み、書くのに必要な基礎的語彙力を習得できる。 2. 英文を読み、書くのに必要な基本的文法を理解し使うことができる。 3. 様々な場面やトピックに合わせて英語で記述できる。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
第1回	Introduction + Lesson 1: Reading, Listening, and Reference Writing 1	Lesson 1	山城，山口	講　義
第2回	Lesson 2: Reading, Listening, and Reference Writing 2	Lesson 2		
第3回	Lesson 3: Reading, Listening, and Reference Writing 3	Lesson 3		
第4回	Lesson 4: Reading, Listening, and Reference Writing 4	Lesson 4		
第5回	Lesson 5: Reading, Listening, and Reference Writing 5	Lesson 5		
第6回	Lesson 6: Reading, Listening, and Reference Writing 6	Lesson 6		
第7回	Lesson 7: Reading, Listening, and Reference Writing 7	Lesson 7		
第8回	Lesson 8: Reading, Listening, and Reference Writing 8	Lesson 8		
第9回	Lesson 9: Reading, Listening, and Reference Writing 9	Lesson 9		
第10回	Lesson 10: Reading, Listening, and Reference Writing 10	Lesson 10		
第11回	Lesson 11: Reading, Listening, and Reference Writing 11	Lesson 11		
第12回	Lesson 12: Reading, Listening, and Reference Writing 12	Lesson 12		
第13回	Lesson 13: Reading, Listening, and Reference Writing 13	Lesson 13		
第14回	Lesson 14: Reading, Listening, and Reference Writing 14	Lesson 14		
第15回	Lesson 15: Reading, Listening, and Reference Writing 15	Lesson 15		

テキスト	1. e-Learning: Academic English Course (2022)
参考文献	Krashen, S. D., Lee, S.-Y., & Lao, C. Y. (2018). *Comprehensible and compelling: The causes and effects of free voluntary reading*. California: Libraries Unlimited.
他科目との関連	英語Ⅰ、英語Ⅱで培った語彙・文法を生かし、Reading と Writing のスキル強化を図り、英語Ⅳへの導入とする。
成績評価の方法	e-Learning (70%) Writing (30%)

学習相談・学習体制	オフィスアワーは毎回の授業後教室にて対応します。
学習指導法の工夫	e-Learningによる個別進捗管理
授業改善の特記事項	学習内容を確認するQuick Testを毎回行う。
備　考	ハワイ研修セミナー参加及び課題提出により英語Ⅲ（2単位）の認定を行う。

科　目 コード	14144	授業 科目	英　語　IV (English IV)	担当 教員	○山口賢一

開講年次	2年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講　義
選択必修	選　択	時間数	30時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	英語で書かれた国内外の文献を読み、構造や理論展開を理解することで、より高度な読解力を養い、またアカデミック・ライティングについても学修する。
到達目標	1. リーディングの基本テクニック（スキャニング・スキミング）を学ぶ 2. 批判的思考を用いて英文を読み、自分の意見を表現できるようになる 3. 英作文の構成を理解し、効率的なリーディングができるようになる 4. フォーマルな英作文の基本を習得する

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
第1回	リーディングの基本テクニック（スキミングとスキャニング）アカデミック・ライティングの特徴	学生が選ぶ英文記事（A4、1頁以上のアカデミックなものを各自で検索）＋授業スライド＋グループワーク課題の添削結果	山　口	演習
第2回	スキミング（1） 英作文の構成			
第3回	スキミング（2） ライティングエクササイズ（1）			
第4回	スキミング（3） ライティングエクササイズ（2）			
第5回	スキミング（4） ライティングエクササイズ（3）			
第6回	スキミング（5） ライティングエクササイズ（4）			
第7回	スキミング（6） ライティングエクササイズ（5）			
第8回	スキャニング プレゼンテーションの構成 エッセイの構成			
第9回	ライティングエクササイズ（6）			
第10回	ライティングエクササイズ（7）			
第11回	ライティングエクササイズ（8）			
第12回	プレゼンテーション（1）			
第13回	プレゼンテーション（2）			
第14回	プレゼンテーション（3）			
第15回	リーディングテクニックのおさらい／アカデミック・ライティングのおさらい			

テキスト	なし
参考文献	授業中に適宜指示する
他科目との関連	専門関連科目の知識も用いながら英語で書かれた英文記事（学術論文）を読み、英語 I～III で学んだ語彙・文法を活用して英語のリーディング・ライティングを実践する。
成績評価の方法	期末レポート（４０％）、グループワーク課題（４０％）、積極的参加度（２０％）

学習相談・学習体制	オフィスアワーは毎授業後、科目責任者の研究室にて対応します
学習指導法の工夫	対話型授業
授業改善の特記事項	グループワークなど、学生が討論できる機会を増やす
備　考	学生は積極的にグループワークに参加し、発言することが期待される。コロナウィルス感染拡大の影響で対面授業が実施できない場合は、遠隔教材に沿った学習方法を別途指示し、成績評価の方法についても周知する。

科目コード	L431	科目名	中国語Ｉ			DPとの関連	1／2／6
開講年次	2年次前期	科目名（英語）	Chinese Ｉ			単位数	2単位
選択必修	選択	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	王志英（非常勤）	実務経験	あり	担当教員		保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	中国語の発音や文法を学ぶと同時に、日常生活や様々な場面で必要とされる中国語表現を学習する。また、異文化を理解できるよう中国語圏の文化についても学習する。
到達目標	1．「声調」の把握：「四声」・第一声・第二声・第三声・第四声・軽声。 2．発音の把握 ①子韻２１ケと単母韻、その他の複合母韻と組み合わせての練習 ②ピンインを完全に読み書き出来るようにする。

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	中国語はどういう言語か。漢字はどういう文字か。	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第2回	声調（四声）・単母音・ピンインについて	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第3回	声調の練習・子音	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第4回	発音の練習・声調（第３声）の練習	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第5回	第一課「あなたは日本人ですか」	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第6回	第二課「お茶を飲みます」	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第7回	第三課（形容詞述語文）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第8回	これまでの復習（声調・発音・ピンインの理解）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第9回	中国映画鑑賞	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義

第10回	中国映画鑑賞	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第11回	第四課(代名詞名詞)･映画で聞き取れたフレーズの解釈	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第12回	第五課（所有を表す「有」と数詞）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第13回	中国現代事情（雑誌の記すを参考にして）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第14回	中国時事のレポートを書く	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第15回	期末テスト		王志英	
第16回	期末テストの講評と前期のまとめ		王志英	講義
テキスト	体育・スポーツ系のための入門中国語．川邉雄大．朝日出版社．2019年．			
参考文献	講義中に紹介する。			
他科目との関連	授業科目全般			
成績評価の方法	試験70％、提出物・発表30％			
学習相談・学習体制	講義中に質疑を受け、対応する。			
学習指導法の工夫	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。			
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。			
備考	本講義は初学者の為の「中国語」の講義であり、中国語を0からスタートし、基礎から学ぶクラスである。中国語の発音から簡単な作文までどのように中国語を学ぶかの手解きをする。また中国語の日常会話などできるだけ多くしゃべれるようにしていただきたい。中国語を通して中国の文化、現代および歴史的中国の事例を紹介しながら、今日の抱えている諸問題について考え意見交換も図りたい。			

科目コード	L432	科目名	中国語Ⅱ			DPとの関連	1／2
開講年次	2年次後期	科目名（英語）	Chinese Ⅱ			単位数	2単位
選択必修	選択	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	王志英（非常勤）	実務経験		担当教員		保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	中国語Ⅰを履修した者を対象とする。
授業概要	中国語Ⅰで習得した日常会話の語彙や文法を活かし、中国語を第一言語とする話者との保健・看護・医療に関する簡単な会話を練習し、中国語の応用表現を学習する。
到達目標	1. 中国語Ⅰで学習したことを着実に自分のものにする。「声調」と「発音」の完全把握。 2. 単文の中国語作文が出来るように語彙をふやす。

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	第六課・第七課　場所指示代詞	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第2回	第八課　名詞＋的＋名詞	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第3回	第九課　金銭の単位	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第4回	第十課　能願動詞“想”“要”	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第5回	第十一課　動詞の“在”＋場所詞	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第6回	中国映画鑑賞	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第7回	中国映画鑑賞	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第8回	第十二課　方位詞、場所詞	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第9回	第十三課　動詞の重ね型	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第10回	第十四課　動詞＋時間量詞	事前、事後学習や学習課題	王志英	講義

		については、各講義時に説明する。		
第11回	第十五課	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第12回	中国語検定過去問題練習	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第13回	中国語検定過去問題練習	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第14回	中国語検定過去問題練習	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	王志英	講義
第15回	期末テスト		王志英	講義
第16回	期末テストの講評と後期のまとめ		王志英	講義
テキスト	体育・スポーツ系のための入門中国語．川邉雄大．朝日出版社．2019年．			
参考文献	講義中に紹介する。			
他科目との関連	授業科目全般			
成績評価の方法	試験70％、提出物・発表30％			
学習相談・学習体制	講義中に質疑を受け、対応する。			
学習指導法の工夫	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。			
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。			
備考	辞書必携、ＮＨＫ、ラジオの「中国語講座」を講義と平行して学ぶこと。			

科目コード	L441	科目名	スペイン語Ⅰ			DPとの関連	1／2／6
開講年次	2年次前期	科目名（英語）	Spanish Ⅰ			単位数	2単位
選択必修	必修	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	上地リリア(非常勤)	実務経験		担当教員	上地リリア	保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	スペイン語の基礎文法を学習すると同時に、日常会話やさまざまな場面で必要とされるスペイン語表現を学習する。また、異文化を理解できるようスペイン語圏の文化についても学習する。
到達目標	実際のコミュニケーションに近い場で適切にスペイン語が使えるようになる。 タスク：看護師が患者の問診を取る活動

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	オリエンテーション・スペイン語の概要	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第2回	アルファベット，簡単な挨拶	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第3回	発音，アクセント ①	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第4回	発音，アクセント ②	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第5回	発音，簡単な会話	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第6回	お水をお願いします（名詞の性と数）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第7回	はじめまして、ディエゴです(動詞serの直説法現在）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第8回	看護師です（動詞 ser の直説法現在）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第9回	疲れています(動詞 estarの直説法現在，基数詞1～10）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第10回	内科はどこですか？（動詞 estar の直説法現在）	事前、事後学習や学習課題	上地リリア	講義

		については、各講義時に説明する。		
第11回	スペイン語を少し話します（直説法現在の－ar動詞）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第12回	アルコールを飲みません（直説法現在の－er動詞）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第13回	那覇に住んでいます（直説法現在の－ir動詞）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第14回	頭が痛いです	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第15回	スペイン語Ⅰのまとめ	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義
第16回	口頭試験（人数が多い場合、グループを二つに分ける）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地リリア	講義

テキスト	尚真貴子/福地恭子/小波津フェルナンド/又吉パトリシア/上地リリア著 『¡Bienvenidos a Japón!－初級スペイン語－新版』朝日出版社　2020年　2,300円
参考文献	高橋覚二/糸魚川美樹/福地恭子/リディア・サラ・カハ著『ケ・テ・パサ？－初級スペイン語，看護・医療系語彙を中心に－』朝日出版社　2009年　2,100円
他科目との関連	授業科目全般
成績評価の方法	小テスト40％、口頭試験40％、授業への参加態度20％
学習相談・学習体制	講義中に質疑を受け、対応する。
学習指導法の工夫	対話型授業
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。
備考	本講義は、看護・医療系スペイン語である。スペイン語の基礎文法また医療機関での患者と話すための会話を学習する。スペイン語はスペインのみならず中南米やアフリカなど約四億人の人々によって話されている言語である。現在、日本には中南米からの移住者が増加し、スペイン語の需要が高まっている。講義を通して、スペイン語話者の患者と簡単なコミュニケーションが取れる力を身につけること。

科目コード	L442	科目名	スペイン語Ⅱ			DPとの関連	1／2
開講年次	2年次後期	科目名（英語）	Spanish Ⅱ			単位数	2単位
選択必修	選択	時間数	30時間	科目分類	教養科目	授業形態	講義
科目責任者	上地リリア（非常勤）	実務経験	あり	担当教員	上地リリア	保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	スペイン語Ⅰを履修した者を対象とする。
授業概要	スペイン語Ⅰで習得した日常会話の語彙や文法を活かし、スペイン語を第一言語とする話者との保健・看護・医療に関する簡単な会話を練習し、スペイン語の応用表現を学習する。
到達目標	実際のコミュニケーションに近い場で適切にスペイン語が使えるようになる。 タスク：看護師が医師と患者の通訳をする活動

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	スペイン語Ⅰの復習①	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第2回	スペイン語Ⅰの復習②	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第3回	何時に昼ご飯を食べますか？（時刻の表現）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第4回	甘いものが好きです（gustar）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第5回	水が飲みたいです（直説法現在の不規則動詞querer）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第6回	よく眠れません（直説法現在の不規則動詞 poder ①）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第7回	入っても良いですか？（不規則動詞 poder ②）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第8回	何かアレルギーはありますか？（不規則動詞tener①）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第9回	入院しなければいけません（直説法現在の不規則動詞tener②）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第10回	小児科に行きます（直説法現在の不規則動詞ir）	事前、事後学習や学習課題	上地	講義

		については、各講義時に説明する。		
第11回	私にそれを下さい（目的格人称代名詞）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第12回	お腹が痛いです（doler）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第13回	手を洗います（再帰動詞）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第14回	上着を脱いで下さい（命令）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第15回	スペイン語Ⅰ・Ⅱのまとめ	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義
第16回	口頭試験（人数が多い場合、グループを二つに分ける）	事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上地	講義

テキスト	尚真貴子/福地恭子/小波津フェルナンド/又吉パトリシア/上地リリア著 『¡Bienvenidos a Japón!－初級スペイン語－新版』朝日出版社　2020年　2,300円
参考文献	高橋覚二/糸魚川美樹/福地恭子/リディア・サラ・カハ著『ケ・テ・パサ？－初級スペイン語，看護・医療系語彙を中心に－』朝日出版社　2009年　2,100円
他科目との関連	授業科目全般
成績評価の方法	小テスト40％、口頭試験40％、授業への参加態度20％
学習相談・学習体制	講義中に質疑を受け、対応する。
学習指導法の工夫	対話型授業
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。
備考	本講義は，看護・医療系スペイン語である。スペイン語Ⅰで学んだ文法事項を反復練習しながら新しい事項を学んでいく。スペイン語ⅠとⅡで修得した表現を用い，スペイン語話者の患者と簡単なコミュニケーションが取れる力を身につけること。